

## 意見交換会実施結果報告書

様式 2

番 号	25-08
案件名	中野区立小中学校施設整備計画(令和8年度(2026 年度)～令和17年度(2035 年度)) (改定素案)について

## 1 意見交換会の実施状況（自治基本条例第14条の規定に基づき実施したもの）

## (1) 実施概要

合計実施回数	3 回
合計参加人数	5 人

No.	日 時	会 場	参加人数	区側出席者（職名）
1	令和8年1月14日(水) 18時30分～	南中野区民活動 センター	2 人	子ども教育施設課長
2	令和8年1月16日(金) 18時30分～	野方区民活活動 センター	2 人	子ども教育施設課長
3	令和8年1月18日(日) 10時～	中野区役所	1 人	子ども教育施設課長

## ●配付書類

・中野区立小中学校施設整備計画（改定素案）（令和8年度（2026年度）～令和17年度（2035年度））（令和7年（2025年）11月中野区教育委員会）

## ●特記事項（子ども向けの意見交換会を実施した場合には、その旨を記載）

--

## (2) 意見交換会における意見・質疑の概要と区の見解・回答 ※1

合計意見数	8 件
-------	-----

意見の概要と区の考え方については別紙1のとおり。

※合計意見数及び意見の概要等には、その他の参加の手続きによる個別意見を含む。

## (3) 意見交換会における意見により変更した箇所とその理由 ※2

意見交換会における意見により変更した箇所はない。

素案から案への主な変更点は以下のとおり。

No.	変更した箇所	変更の理由
1	(22 ページ) 第4章 学校施設の改築 計画期間中（令和8年度～令和17年度） における学校改築の実施予定 今後の学校改築スケジュール設定の視点 に、児童・生徒数の動向及びまちづくり等 の地域事情等を考慮する旨を追記	現計画において同様の記載があり、今回の 計画改定にあたっても引き続き考慮してい る事項であるため。

## 2 その他の参加の手続き実施状況（個別意見の提出、団体等との意見交換等）

あり

※なしを選択した場合は、以下記入不要。

### (1) 個別意見の提出

種 別	意見数
窓口	0 件
電子メール	0 件
電子申請(Logo フォーム)	3 件
ファクス	0 件
電話	0 件
郵送	0 件
計	3 件

### (2) 団体等との意見交換の実施状況

合計実施回数	0 回
合計参加人数	0 人

### (3) 個別意見の提出、団体等との意見交換等に関する特記事項

電子メールによる個別意見募集及び小・中学校 PTA 連合会に対する意見募集を実施した。提出された意見の概要等については、別紙1に含む。

※1 計画(条例)全体、項目ごとに作成してください。

※2 意見交換会における意見により区案の加除修正を行なった箇所がない場合も、その旨を明記してください。

## 素案に対する主な意見の概要及び区の考え方

	意見の概要	区の考え方
1	新校舎の整備にあたっては、実際に学校を使っている児童・生徒や教職員の意見を聞くべきである。	学校関係者や児童・生徒の意見も伺いながら整備を進めている。
2	新校舎の整備にあたっては、今後の教育環境の変化を見据えた汎用的な機能や諸室を盛り込めるよう、柔軟に検討してほしい。	学校の施設として使用し続けられることはもちろん、これからの学校教育や社会情勢の変化にも柔軟に対応できるような、長期的な視点に立った施設整備を行っていく。
3	南中野中学校の改築工事期間中の代替校舎が旧新山小学校では、校舎・校庭が狭すぎる。運動会や部活動も制限されることなくできるのか疑問である。	旧新山小学校は、現南中野中学校と比較すると敷地面積や校舎面積が小さくなるものの、改築工事期間中、現地に仮設プレハブ校舎を建設するよりも、校庭を確保した良好な教育環境を確保できることから、旧新山小学校を代替校舎として使用することを予定している。 部活動や運動会の実施にあたり、学校が校庭以外の活動場所を希望する場合には、近隣施設を借りることについても検討していきたい。
4	プールは、屋外だと防犯面での懸念がある。また、天候によりほとんど入れず建設費・維持費に見合わないのので、屋内に設置するか、近隣施設を借りるなどをすれば、設置不要である。	水泳指導の効率化や児童・生徒の安全確保、教職員の負担軽減といった理由から、各校でのプール整備を基本としている。 また、改築にあたっては、学校敷地の有効活用等の観点から、屋上への配置を基本とし、プール全面を覆う可動式のプール膜を設置するなど、暑さ対策や視線対策を実施していく。 なお、今後の新校舎の整備にあたっては、近接する複数校によるプールの共同利用についても検討していく。

	意見の概要	区の考え方
5	整備スケジュールを当たり前のように延長しないでほしい。	計画改定にあたり、学校改築における標準的な計画・工事期間の見直しを行っており、整備スケジュールに則った整備に努めていく。
6	学校施設の改築のイメージがわきにくい。映像なども使ってイメージを伝えていくべきである。	新校舎の図面やパンフレットを中野区ホームページで公開しており、より多くの人に伝わるよう、情報発信について検討していく。
7	ユニバーサルデザインについての記載があるが、学校はすでにユニバーサルデザインの施設になっているのではないか。	新校舎は、ユニバーサルデザインの考え方に基づき整備をしている。また、既存の学校においても、出入口の段差解消やバリアフリートイレ、階段昇降機などを順次整備している。
8	学校を避難所として使用する場合のシミュレーションをして、それを動画などで発信すべきである。	新校舎の整備にあたっては、避難所として使用することを想定した施設整備を行っている。情報発信に関する意見については、担当所管に伝える。